

## 1 建学の精神と理念

本校は明治36年12月10日、植苗地区の発展に伴い住民有志の寄付を受け、茅葺き校舎で「苫小牧尋常小学校植苗簡易教育所」として開校した。その後、戦後六三制教育スタートと同じ昭和22年、中学校が併置され、苫小牧市唯一の小中併置校として特色ある教育実践を積み重ね、有為な人材を輩出して現在に至る。開校当初からの学校教育目標「よく考え進んで実践する子」「思いやりの心と責任をもつ子」「丈夫な身体と強い意志をもつ子」は一貫して変わることなく今も受け継がれている。

今年度、本小中学校は創立120周年を迎える。同時に、苫小牧市初の「義務教育学校」としてスタートする。歴任教職員の創意工夫と協働により築きあげてきた小中連携の取組が、義務教育学校化により正式に小中一貫教育へ移行する。「植苗ならではの」の強みである「豊かな自然」「9年間一貫」「少人数教育」のよさを活かしながら、学校・家庭・地域が一体となり、地域の未来を創る人づくりに邁進する。

## 2 学校教育目標

児童生徒一人一人の有する能力を伸ばしつつ、社会において自立的に生きる基礎を培い、また社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的に、次の学校教育目標を掲げる。

### よく考え進んで実践する子

粘り強く考える子 進んで学ぶ子 よりよいものを創り出す子

### 思いやりの心と責任をもつ子

責任をもって最後までやり抜く子 思いやりをもって助け合う子  
進んで正しいことに立ち向かう子

### 丈夫な身体と強い意志をもつ子

粘り強い心をもつ子 たくましい身体をもつ子 清潔安全の習慣をもつ子

## 3 本校が育成する資質・能力

子供達には、ふるさと植苗に誇りをもち、社会で自立してたくましく生き抜ける人になってもらいたい。また、私利私欲ではなく、地域・社会に貢献し、生涯にわたって豊かで幸せな人生を送ってもらいたい。そのために、本校は以下の2つの資質・能力を9年間一貫して育成する。

協働する力 ⇒ 互いの違いを認め、自他を尊重し、ともに課題に取り組む力

問題解決力 ⇒ 課題に対して様々な方法を考え、最適な解決策を実践する力

## 4 本校が目指す姿

### (1) 目指す学校像

- ① あいさつが響き、思いやりあふれる学校
- ② 子供達も教職員も成長を実感できる学校
- ③ 地域とともにある学校

(2) 目指す子供像

「ともに学び、実践する子」

～あいさつ 思いやり ともに学んで実践～

(3) 目指す教職員像

「ともに学び、実践する教職員」

～あいさつ 思いやり ともに学んで実践～

## 5 学校経営の基本方針

(1) 「植苗の強み」を活かした教育活動の推進

本校の強みは、

○豊かな自然に囲まれていること

○一人一人にきめ細やかな少人数教育ができること

○1～9年生までの全児童生徒が、ともに学び、ともに成長できること

○1～9年生までの全児童生徒が、全教職員・保護者・地域に見守られていること

である。これらを最大限に活かし、義務教育9年間一貫した教育活動等を全教職員で行う。

(2) 教職員が協働して活動する教育活動の推進

一人一人の教職員の特性が十分発揮され、お互いが認め合い、関わり合い、学び合いながら、ともに新しい植苗小中学校を創造していきたい。特に、今年度は、「義務教育学校」開校初年度である。新たな課題や変化を前向きに受け止め、積極果敢にチャレンジする姿勢をもち、全教職員が協働して「ともに学び、実践する子」を育成する。

(3) 地域や保護者から信頼される教育活動の推進

地域や保護者とあらゆる機会を通して目指す子供像を共有し、それぞれのもつ力を活かしながら教育活動を進める。その基盤として、地域及び保護者との信頼関係を築くため、「全教職員の行動指針」を日頃より意識して行動する。

## 6 全教職員の行動の指針

(1) チャレンジする姿勢を

新たな課題に柔軟に、積極果敢に挑戦

(2) 学び続ける姿勢を

子供にとって最重要な教育環境は教職員

(3) 全教職員が一枚岩に

学校は組織体、ベクトルを合わせて

(4) すべての人に誠意ある対応を

家庭・地域・関係諸機関との連携

(5) 常に最悪を想定して

初動を迅速に、事実を正確に報連相・記録

(6) 不祥事のない職場を

交通違反、体罰、不適切な行為はしない

(7) 心身ともに健康な身体を

毎月2回定時退勤、19時施錠の日常化

## 7 学校教育目標の具現化に向けた取組と到達指標

### 「よく考え進んで実践する子」

取 組	到達指標
(1) 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善 ・ <u>9年間一貫した植苗授業スタイルへの挑戦</u> (2) 9年間一貫した学習規律・家庭学習習慣の確立 ・ <u>植苗学習コネクットの徹底、継続</u> (3) タブレットの効果的な活用 (4) 指導と評価の一体化（特に「主体的に学ぶ態度」） (5) 特別な配慮を要する児童生徒への適切な支援 (6) 読書習慣の確立	☆児童生徒アンケート ・「仲間とともに授業している」 ・・・・85%以上 ・「学習のきまりを守っている」 ・・・・85%以上 ・「毎日家庭学習に取り組んでいる」 ・・・・85%以上

### 「思いやりの心と責任をもつ子」

取 組	到達指標
(1) いじめ・不登校の未然防止 ・ <u>自己肯定感をはぐくみ居場所のある学級・学校づくり</u> ・ <u>思いやりの心の醸成と人のために働く意識の向上</u> ・ <u>深い児童生徒理解（個人カルテの活用）</u> ・ <u>心に寄り添う組織的な教育相談体制の確立</u> ・ <u>児童生徒会による主体的な取組の創出</u> (2) 小中一貫したきまり・生活習慣の確立 ・ <u>あいさつの徹底、植苗学習コネクットの徹底</u> (3) 特別な教科道徳の授業改善「考え議論する道徳」 (4) よりよい生き方を身に付けるキャリア教育の充実	☆児童生徒アンケート ・「思いやりある行動ができる」 ・・・・85%以上 ・「あいさつができる」 ・・・・90%以上 ☆いじめアンケート ・「いじめは許されない」 ・・・・95%以上

### 「丈夫な身体と強い意志をもつ子」

取 組	到達指標
(1) 体力・運動能力の向上 ・ <u>体力向上に向けた日常の取組の推進</u> ・ <u>全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の分析と改善</u> (2) 健康教育・食育の充実 ・ <u>メディアとのよりよい関わり方への啓蒙</u> ・ <u>防犯教室、性教育、食に関する指導等の実施</u> (3) 生活リズムの確立 ・ <u>生活健康調査（長期休業後）、教育相談の実施</u>	☆児童生徒アンケート ・「運動する取組を行っている」 ・・・・80%以上 ☆生活健康調査 ・「早寝早起きし、朝食を食べた」 ・・・・85%以上